



図書館だより

新入生
歓迎号

No. 10



図書館は知の宝庫である

上智大学長 滝澤 正



大学においては何事につけ学生の主体的な判断と行動が求められている。意欲と結びつくことによって学習効果が高まるからである。たとえば、カリキュラムについては、専攻にとって不可欠な必修科目もあるが、それ以外に広く選択科目が展開されており、自己の希望や将来の進路を見据えて積極的に選び取ることが要請されている。また授業においては、単に講義を聴くという受動的な学びだけでなく、討論に参加するとかレポートを書くといった能動的学習が重視されている。

積極的に関与して初めて素材が生かされるという点では、辞書はその典型である。広辞苑などは厚いので、昼寝の枕としては手ごろな大きさであるとしても、本棚では場所ばかりとって無用の長物という感じがする。ところがこれを参照すれば、知りたいことがなんでも書いてあり、使いこなすことによって勉強に欠かせ

ない道具となる。図書館については一層このことがあてはまる。図書館という知の宝庫から、皆さんは是非各人に合った宝を探していただきたい。

ところで話は変わるが、他人の家を訪れたときに、通された客間を見ただけではその家の生活の実態はなかなか分からないものであって、裏に回って台所などを見ると真の姿が把握できよう。大学の図書館は、かつては大学の顔といった趣があって、キャンパスの中央に威容を誇っていることが多かった。ところが近年では、学生のためのラウンジや食堂の快適さや豪華さが競われるようになって、図書館は裏に隠れつつある。私は学生のための福利厚生施設を軽視してよいなどと言うつもりは毛頭ないのであるが、そうした今日でこそ、図書館を見れば大学経営者の教育方針は分かるし、学生の学習水準も分かるように思っている。

前者の大学の対応については、私は2回にわたって館長を務めたことがあるけれども、利用しやすい仕組みを作るべく努力を重ねてきた。全館を開架式として文献を直接手にとって吟味できるようにする、各階に閲覧席をたつぷりと用意する、静かに勉強するという従来の殻を破って積極的に討論や発表ができるスペース（ラーニング・コモンズ）を設ける、などの手を打ってきた。後者の学生の態度という面でも、幸いなことにこれまでは、上智大学は図書館の利用率が極めて高いという統計がでている。図書館が一層利用され、皆さんが充実した学生生活を送ることを期待する。



図書館ツアーのご案内

図書館には、約110万冊の蔵書があるほか、映画や語学のDVD・CDを視聴できるAVコーナーや、グループ学習室、ラーニング・コモンズ、レファレンスカウンター（利用相談窓口）など、さまざまな施設があります。図書館ツアーに参加すると、図書館の使い方が分かるようになりますので、ぜひご参加ください。

*参加された方には図書館オリジナルクリアファイルを差し上げます。

実施内容

中央図書館内の主要な個所を約10名ずつのグループに分かれて見学します。

実施日程 時間

所要時間は各回30分程度で、同内容です。（予約不要）
（物質生命理工学科の新入生は、学科から指定された時間帯に参加して下さい。）

集合場所

開始5分前に中央図書館1Fレファレンスカウンター前にお越しください。

実施日	出発時間			
4月5日(火)	12:30			
4月11日(月)	10:30	11:30	14:30	15:40
4月12日(火)	10:30	11:30	14:30	15:40

図書館はどんな所？

図書館は本学における教育・研究を支援するための学部や学科の内容を反映した「専門図書」を中心とした学術情報を提供しています。中央図書館では地下2階から地上8階の10フロアに、図書約110万冊と雑誌約11,000誌を所蔵しています。また、紙媒体だけでなく、電子ジャーナルやオンラインデータベースなども豊富に揃えています。地下1階と地下2階は一般教養書などの学部図書、2階と4階から8階には専門性の高い図書を中心に各階に分野別に配架されています。ほとんどの図書を書架で実際に手にとって読むことができますので、図書館内を歩いてみてください。2009年夏から地下1階にラーニング・コモンズが新設され、図書館の学習機能が強化されました。



図書館は本を借りるだけでなく、皆さんの学習・研究をサポートするところでもあります。様々な設備が揃っていますので、どのようなものがあるか見ていきましょう。

ルールを守って気持ちよく図書館を利用してくださいね！

私語厳禁

飲食禁止

通話・音禁止

●貸出カウンター(1F)

図書の館外貸出・返却・延長・予約等の手続きをしています。また、リザーブ・ブック（教員指定図書）の貸出手続きも行っています。図書の貸出は貸出カウンター前に自動貸出機が3台設置してありますのでこちらもご利用ください。

●サービス時間(授業・期末試験期間内)

月～金 9:00～21:00

土 9:00～17:00



図書館所蔵資料・施設一覧

8F		専門・研究図書 学部学生の利用もできます。 (4階から8階は人文社会系)
7F		
6F		
5F	コピーサービス	
4F		
3F	雑誌バックナンバー(人文社会系) 新聞バックナンバー・紀要	
2F	情報検索室 レファレンス資料 新刊雑誌 雑誌バックナンバー (理工系)	(2階は理工系)
1F	貸出カウンター レファレンスカウンター AVコーナー 新着新聞	
B1F	ラーニング・コモンズ グループ学習室 学生ラウンジ	学部図書
B2F		

●レファレンスカウンター(1F)

情報検索や図書館の利用相談の窓口です。「資料の探し方が分からない」、「検索の仕方が分からない」、「購入してほしい資料がある」、など「こんなこと聞いていいのかな?」と思う前に、まずはカウンターにお越しください。専門スタッフが親身になってお答えします。

●サービス時間

月～金 9:00～17:00



●AVコーナー(1F)

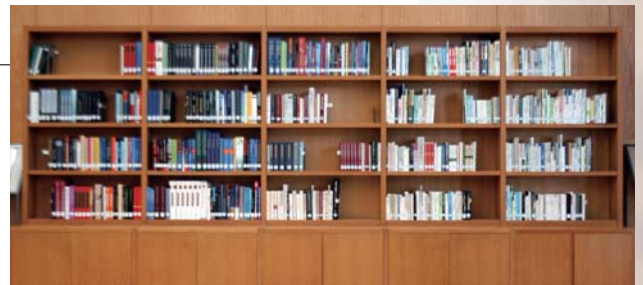
1階AVコーナーにあるAV資料書架には、ビデオテープ(VHS)・DVD・CDの視聴覚資料があり、学習・教育・研究用と、映画やクラシック音楽等の娯楽・教養用のソフトが所蔵されていますので、個人用ブースで視聴することができます。

- 利用時間(授業・期末試験期間内)
9:00~18:00



●新刊コーナー(1F)

毎週木曜日に最新の受け入れ図書が新刊コーナーに並びます。一週間後に収められる書架のフロアごとに分かれていますので、図書館に立ち寄った際には、ぜひ一度見てください。新刊コーナーに並んでいる本もすぐに借りることができます。



●ラーニング・コモンズ(B1F)

グループでの学習・討議、パソコン利用、プレゼンテーションなど多目的に利用できるスペースです。他のエリアとの間にドアが設けられているので会話が可能です。無線LANの設備があり、ノートパソコンを使うことができます。貸し出し用ノートパソコンもあります。

- 利用時間(授業・期末試験期間内)
月~金 8:00~21:00
土 9:00~20:00



●グループ学習室(B1F)

地下1階には8名~10名くらいのグループで利用できる部屋が3室あります。防音効果があるため、話し合いながらの学習、語学の勉強会と多目的に利用でき、とても便利です。使用するにはグループ学習室前にある使用申込表に代表者の学生番号を記入して予約してください。30分単位で最大2時間まで連続して利用できます。



この他にも各フロアには複写機*が設置されています。その他の情報は図書館ホームページをご覧ください。

<http://www.sophia.ac.jp/jpn/research/lib>

図書館を身近に感じていただけましたか? 大学に来たらまずは図書館にお越しください。充実した施設とスタッフで皆様のご来館をお待ちしています。

*図書は著作権法で守られており、規定によっては複写できない場合があります。ルールを遵守して気持ちよく図書館を利用しましょう。

学習支援席(図書館地下1階)を 利用してみよう!

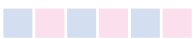
新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。大学での勉強はいかがですか?

高校までと違って、大学では主体的に学ぶことが求められます。授業の課題も、本を読んだり、調査や実験をしたりした後、自分の考えをレポートやプレゼンテーションの形でまとめるものがほとんどです。

でも、「どうやって調査や実験をしたらいいの?」と戸惑うことはありませんか?あるいは「レポートなんて書いたことないし、書き方がわからない。」ということもあるかもしれません。

学習支援席では、このようなみなさんの学習に関する悩みに、大学院生のスタッフがお答えします。「こんなこと、先生に聞けないし…」というちょっとした疑問も、院生スタッフになら聞きやすいはず。どうぞお気軽に声をおかけ下さい。

学習支援席 Q&A



Q レポートの課題が出たのですが、どのようにすればいいのでしょうか。

A 科目によって様々なレポートのタイプがあるでしょう。学習支援席では、相談者が履修している授業やテーマについてお話を伺いながら、取り組み方をアドバイス致します。

Q 資料や参考文献をどう探したらよいか分かりません。

A 情報検索のためのデータベースとして、CiNii、Web of Science、EBSCOhost があります。学習支援席では、具体的な使い方や注意点について、説明を行っています。

Q 参考文献の書き方が分かりません。

A 『参考文献の役割と書き方』を無料配布しています。また具体的な事例については、支援席で直接お答えすることができます。

Q プレゼンテーションの課題が出たのですが、どうすればよいのでしょうか。

A パワーポイント等の提示資料と、説明用の原稿が必要になります。ソフトの使い方や具体的な原稿の作成方法についても、学習支援席でアドバイスを行っております。

Q 学習支援席ではどの程度までの支援をしていただけるのでしょうか。

A 原則として論文レポート作成のためのヒントや手がかりをお伝えします。でも、どのような疑問でも、まずはどうぞお気軽にお越しください。

興味を持った対象に臆せず手をのばして、とことん掘り下げることができれば、大学生活は加速度的に面白いものになります。レポートやプレゼンで手順に詰まったときは、どんどん活用して下さい。(史学専攻博士課程 吉野 恭一郎)



「こんなに基本的なこと、質問していいのかな…」どうぞ遠慮なく、どんな疑問も私たちにぶつけてみて下さい。自分たちの数々の失敗や苦勞から導き出したアドバイスをさせていただきます。

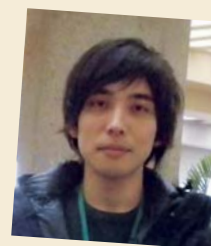


(組織科学専攻博士課程 海老原 晴香)

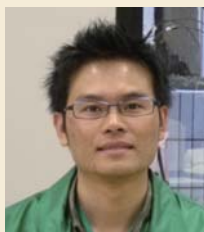
一人で考えていると煮詰まってしまうことはありませんか。そんな時は、人に話してみることで、自分の考えがまとまってくることもあると思います。是非、スタッフに声をかけ下さい。(フランス文学専攻修士課程 大曲 文)



様々な分野を専門にした大学院生が緑の服を着て、図書館地下一階ラーニング・commonsの中にある学習支援席に座っています。勉強をしていて何か困った事があった時には、気軽に緑の服の人に話しかけてみて下さい。(ドイツ文学専攻修士課程 久野 直人)



学習支援席では、いろいろな学科を専攻しているアドバイザーがおります。そのために、皆さん一人一人の質問に対して丁寧に的確なアドバイス・支援ができるのが特徴です。是非有効に活用して下さい。

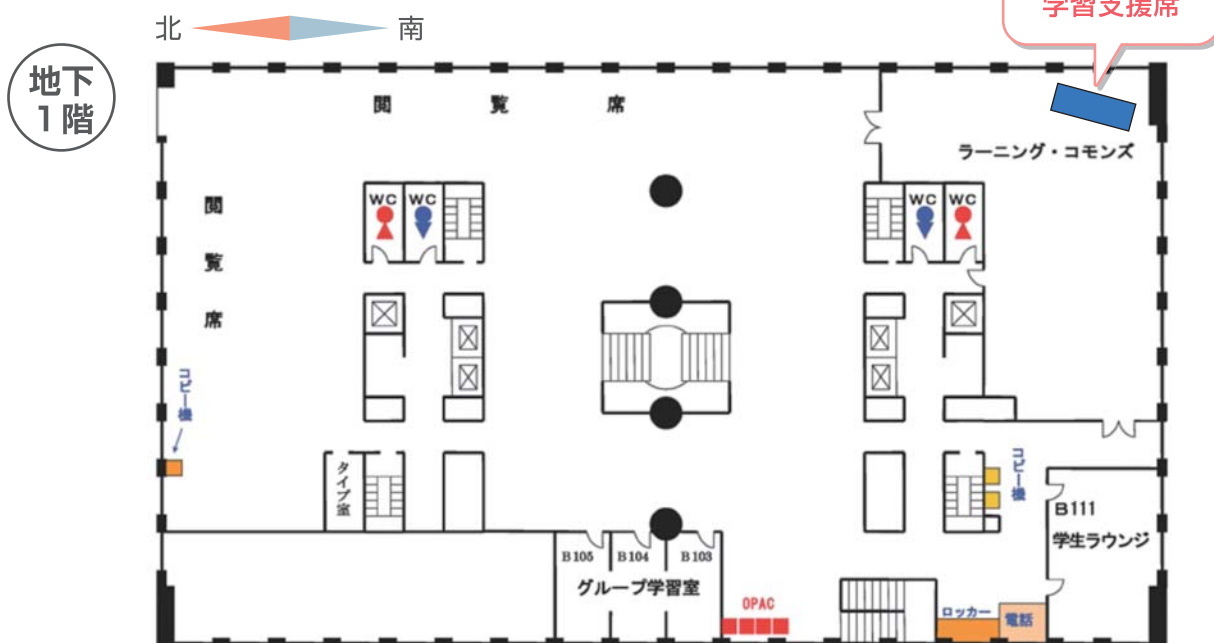
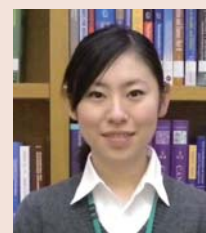


(電気・電子工学専攻博士課程 ピマソネ バンサイ)

一日も早く皆様が大学の授業に慣れるよう、サポート致します。小さな質問でもお気軽に学習支援席をお使い下さい。(フランス文学専攻修士課程 千田 桃子)



調べものをしたいけど、どこから手をつければいいのか？ レポートって作文とはどこが違うの？ 理論的に書くってどういうこと？ それよりむしろ、この席に座ってる大学院生って普段は何してるんだろう…？ あなたの疑問にお答えします。気軽に声をかけて下さい。(フランス文学専攻修士課程 明石 雅子)



『株式会社ロシア——混沌から甦るビジネスシステム』 (栢俊彦著・日本経済新聞出版社)

≫ 図書館所蔵
学部(地下1階)
請求番号 332.38 : Ka983

「ロシア」と聞いてみなさんはどのようなイメージを抱くだろうか。「暗い・怖い・寒い」の3拍子で表現されることがあるが、いずれにしろ世論調査結果をみてもネガティブな印象を持っている日本人が多い。そんなとっつきにくいロシアであるが、目まぐるしく変わる経済の実像に触れることにより、ロシアに対する関心度は多少かわってくるかもしれない。

「遠い隣国」といわれるロシアの今を伝える良書はいくつかあるが、変貌を遂げるロシア経済のありようを知り、理解を深めるには本書がうってつけである。ソ連解体後、市場経済化を推し進めてきたロシアだが、体制転換の道のりは決して平たんではない。日本経済新聞の元モスクワ特派員の著者による本書では、ロシアの経済路線は欧米模倣型から、プーチン政権下で「ロシア的」な発展モデルへの修正を模索する動きへと変わっていった様子が分りやすく示されている。さらに、ロシアの発展の原動力となる中小企業に焦点をあて、起業家精神旺盛な実業家たちの活躍を生き生きと描写するなど、経済・社会の底流をつかむために必要と思われる内容が盛りだくさんである。

企業の発展や政府の政策といった個別の変化を体制転換の大きな流れの枠で捉えることはロシアをみる上で不可欠であり、本書はそのための有用な手がかりを与えてくれるだろう。



Sophia University Press (SUP:上智大学出版)をご存知ですか？

「Sophia University Press」(SUP) は、1999 年 3 月に創設されました。

大学が出版する本や雑誌などは、まさに大学の知の宝庫です。…というのは、著者や編者などが大学関係者だからです。

現在活躍中の先生たち、興味深い研究を行った先生たち、あらゆる分野を築き上げている卒業生たちです。

今回は、数ある SUP 出版物の中から 4 冊をピックアップして、ご紹介いたします。

また、これらの本は、図書館にも置いてありますので、本の番号（請求記号）も一緒に記載します。

興味をもたれた方は、ぜひ図書館でページをめくってくださいね!!

本を生きる 小林章夫 編 (2008.11)

上智大学発行の季刊誌『ソフィア』に6年間掲載されていた「リレー・エッセイ—書物をめぐる旅」をまとめて編集し直されたもの。本を読む楽しみが満喫できる本です。

(編者：文学部英文学科教授 小林章夫)

<図書館：学部(地下1階) 019.9:Ko124>



外国研究の現在と未来 きょう あした 吉田研作 編 (2010.3)

1958年の外国語学部創立から50年。それを祝い、活躍中の卒業生のお話、第一線の先生方の白熱したシンポジウム、専門分野の先生方の論文などを収録。新たな外国研究への指針です。

(編者：外国語学部英語学科教授 吉田研作)

<図書館：学部(地下2階) 807:Y863>

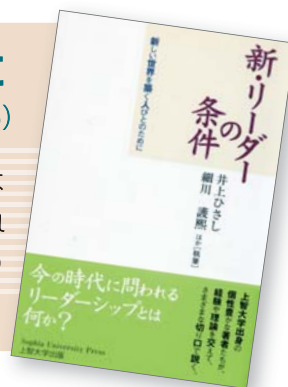


新・リーダーの条件：新しい世界を築く人びとのために 井上ひさし、細川護熙ほか 執筆；上智大学総合人間科学部教育学科 編 (2006.5)

「地球社会時代のリーダー論」というテーマのもと、上智大学出身の個性豊かな著者たちが、経験や理論を交えて、さまざまな切り口で説く、今の時代に問われるリーダーの条件。

(執筆：作家・故 井上ひさし氏、元総理・細川護熙氏 他)

<図書館：学部(地下2階) 361.43:J573>

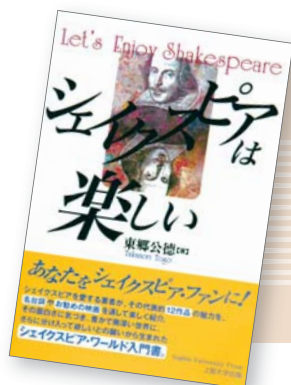


シェイクスピアは楽しい 東郷公徳 (2005.4)

シェイクスピアを愛する著者が、その代表的12作品の魅力を、あらすじ・解説とともに、名台詞、'映像で見るならこの作品'として、お勧めの映画も紹介。楽しいシェイクスピア・ワールド入門書。

(著者：外国語学部英語学科教授 東郷公徳)

<図書館：学部(地下2階) 932:Sh123:To233>





図書館掲示板

あなたを育てる本が 見つかるかもしれない!

千代田図書館で大学の先生がオススメする本の展示を開催しています。

区内にある9つの大学の先生方が、新入生にオススメする本を選び抜きました。新入生にとってこれから必要な知識や教養、研究の手がかりがいっぱい。“特に読んでもらいたい1冊”は推薦文とともに紹介されています。上智大学からも3名の先生が本を選んでくださっています。あなたを育てる「1冊」を発掘しに出かけてみましょう。

- ドイツ文学科 中村 朝子先生
- イスパニア語学科 西村 君代先生
- 物質生命理工学科 藤田 正博先生

★開催期間

2011年3月28日(月)～4月23日(土)

★場 所

千代田図書館9階 展示ウォール

図書館が表彰されました!

平成22年度東京都教育委員会事業推進に貢献した実績が認められ、上智大学図書館が表彰されました。これは、図書館が都立足立特別支援学校の高校生をインターンシップ実習生として受入・指導している事が高く評価されたものです。図書館では、実習生に蔵書点検・雑誌受入・書架調整作業などいろいろな作業を経験してもらっています。実習生は実際の企業や大学で実習するという経験を通して社会に出るためのスキルを

身につけていきます。今後も図書館はできる限り実習生の受入をしていきたいと考えています。



豆知識

現存する印刷物で最古のものは?

作製年代が明らかな世界最古の印刷物は、約1200年前の奈良時代に作られた「百万塔陀羅尼(だらに)」です。

「百万塔陀羅尼」は、764年(天平宝字8年)、時の天皇であった孝謙天皇(後に称徳天皇)の発願で奈良諸大寺に納められた三重小塔百万基の小木塔に収納された経文です。(経文の印刷方法については銅版説、木版説などあり、いまだ判明していない。)

※画像出典: IPA(独立行政法人 情報処理推進機構)「教育用画像素材集サイト」
<http://www2.edu.ipa.go.jp/gz/>



上智大学図書館だより No. 10

発行所 上智大学図書館
〒102-8554
東京都千代田区紀尾井町7-1
TEL: 03-3238-3510
FAX: 03-3238-3139
発行日 2011年4月1日
印刷 三鈴印刷株式会社
TEL: 03-5276-0811